

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
I. 理念に基づく運営						
1. 理念の共有						
1	1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	真心とぬくもりの介護サービス。家族としてのぬくもりある介護を実施。「喜怒哀楽」のある生活を、人としての暮らしを、当苑のおもてなしの心としての理念に努めております。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及び職員に家族としての考えを大事に、取り組んでいます。	○	介護サービスが業務とまらない様、引き続き管理者・職員一同頻繁に会議を行っていききたい。
3		家族や地域への理念の浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	誕生会や敬老会などのイベントに招き、当苑の理念を理解頂ける様努めております。	○	もっと地域交流を深めていきたい。
2. 地域との支えあい						
4		隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	職員全員、近隣の方への挨拶は徹底している。イベントへの参加も声をかけております。	○	入居者も少なかった都合上、イベントが少なかったので今後色々なイベントを増やし、市域の方々に多く参加頂ける様告知していききたい。
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	現在、地域活動には参加しておりません。	○	入居者も増えてきましたので、今後は地域活動に積極的に参加していききたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在、地域貢献への取り組みは行っておりません。	○	現在は、地域貢献出来る程の余裕はありませんが、地域密着となる様まずは、話し合いからすすめていききたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用						
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	初めての評価となるので、改善への取り組みは行っておりません。	○	評価後の指摘内容について、検討してゆく。
8	5	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者のご家族の方々が一緒に集まる事が出来ず、個々にサービスの実際や話し合いを行っています。	○	入居者が増えて来たので、早急に運営推進会議を行っていききたい。
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在、行っておりません。	○	今後は、市町村連携をとりサービス向上に努めていききたい。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、行っておりません。	○	

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	まず、知識として虐待防止関連法を書面にて職員全員が理解し、現場では管理者・ホーム長などの厳しい指導により、虐待はございません。	○	虐待行為の隠蔽がない様、全ての職員がこまめに見回りや利用者の方々から報告出来る体制を行っていきたい。
4. 理念を実践するための体制						
12		契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ケアプランは勿論、重要な金銭関係についても詳細にご案内した上で契約を行っております。又、疑問点や不安などないかこちらから積極的に伺い、ご納得頂けるまでご説明致しております。		
13		運営に関する利用者意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現場の職員のみ利用者からの意見などを伺っていると、偽りや偏りが発生する可能性がある為、経営者自身がこまめに利用者へ意見等のお伺いを行っている。		
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	週1回程に暮らしぶりや健康状態をご家族様へご報告しております。又、誕生会等のイベントの際は書面及び写真を同封の上郵送にてご案内しております。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見・不満・苦情については、常にお申し出頂ける環境にあります。	○	小さなご要望でもお答えできる様、職員一同一丸となって取り組んでいく。
16		運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体会議を行い、重要事項の説明や職員からの意見を質疑する時間を設けています。他、日々職員の提案などを聞く様管理者・ホーム長へ指導しております。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	常に行っている。例えば2名で入浴介助が必要な日は1名出勤者を多くしたり、外出のある日はその時間だけ職員を出勤させています。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮を	常に介護者が変わると家族としての運営が出来なくなるので、利用者の為に担当制にしています。	○	
5. 人材の育成と支援						
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員の介護サービスを向上させる為、医療機関の協力により緊急処置などの研修を行っている。	○	他の施設などへの研修も行っていきたい。
20	11	同業者との交流を通じた向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉市グループホーム協議会に加盟し、意見交換などの場を設けております。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレス解消に少しでもなればとの事から、月1回ほぼ全員参加でのイタリアンコース料理を食べながら雑談する機会を会社より提供致しております。美味しい物を食べて言いたい事を言い合ってストレス発散が目的です。	○	その他の、ストレス発散法を検討していきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努力は報われる様、ホーム長・管理者はじめ全員の意見を求め何より収入面での満足をして頂ける様、取り組んでいます。	○	収入面以外での向上心を持たせる事が出来る方法を見出していきたい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	職員全員での、声掛けを頻繁に行いご要望をお伺いしている。		
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	週1回は来苑頂く様にしています。当苑が第二の自宅と思って頂く為です。職員全員と打ち解け何でも言える環境にしています。		
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護面・看護面共に見て管理者・看護師によるその時のサービスを判断し提案やサービスを行っています。		
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が早く打ち解けて頂ける様、十分にご要望を伺った上まずは決まった事からでなく、皆とのレクリエーションなどから参加頂く様に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人に対しては介護という立場をとっていません。人生の先輩として敬い、共に笑い共に楽しめる環境づくりに努めております。一緒に食事を作り、一緒に洗い物までして一緒に暮らす事に努めております。		
28		本人を共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築	頻繁に当苑へお越し頂く様をお願いをし、イベントへも参加頂く様にしています。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	職員全てが、本人とご家族間の何らかの架け橋という立場でいられる様努めております。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の知人などが来苑された時は温かく迎え、一緒にレクリエーションも参加出来る様配慮に努めている。		
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	なるべく孤立は無い様職員が間に入り、少しずつ打ち解けてゆく様努めております。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去されても気軽に立ち寄れる心地よい環境に勤めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
1. 一人ひとりの把握						
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者本位が当苑の当初からの考えなので、常にご要望を伺いより良い暮らしが出来る様努めている。		
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・ご家族から今までの生活の経緯を十分に伺い、介護サービスに取り組んでおります。		
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活状況を細かく記録し、その人の身体能力を全職員が把握出来る様努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し						
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、2ヶ月間の生活状況を元に本人・家族と共に話し合いの上、適切なケアプランをたてております。		
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成して	身体状況の変化により、ケアプランを変更する場合はご家族を交えて早急に対応しております。		
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	結果を持って改善を要す姿勢でケアプランを見直しております。個別のケース記録を参考にし頻繁に話し合いを行っております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在、多機能性を活かした支援は行っておりません。	○	必要に応じ、多機能性を活かしていきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働						
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	現在、消防のみ協力体制をしております。	○	ボランティアなどとの協働をすすめていきたい。
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在、行っておりません。	○	必要に応じ検討していきたい。
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センター「千寿苑」との協働している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当苑は協力医療機関が多数あり、緊急病院の受け入れ体制も万全ですが、医療機関は利用者によって決めています。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい内科専門医との協力体制をとっております。		
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	当苑の看護師が日常管理を行っております。又、医療機関との連携も深めております。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連	早期退院者には即時対応する体制が出来ております。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族の方々には、入居時に重度化した場合についてのご案内を致しております。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化に対して、出来るだけの事はする体制ですが物理的に無理と判断される場合、医療機関等への支援体制を整えております。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	重度化などにより、転居される場合もその施設等へは十分な情報提供を行い本人のダメージを最小限に止められる様務めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
1. その人らしい暮らしの支援						
(1) 一人ひとりの尊重						
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	当苑では、本人に対し「さん」をつけております。年配の方を敬う様に配慮をした対応を心がけております。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人が自分で決定したり納得する事の出来る対応をしております。		
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位なので、本人の意思を尊重しております。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理・美容は本人の希望に合わせております。服装なども希望を伺い、ご用意致しております。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者本人と職員は一緒に食事をし、楽しみながら食事を出来る様努めております。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	当苑での制限はありませんが、暴飲暴食等と見受けられる場合はご家族に判断頂いております。		
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	おむつを減らす事は行っております。又、個々の便の習慣を把握し気持ちよく排泄の介助を行っております。		
57	23	入浴を楽しむことができる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の日にちや順番は決めておりません。本人が入浴したい時に対応出来る様努めております。(但し、13:00~1600)又、入浴を希望しない日があまり長い場合は、本人にご納得の上ご入浴をして頂いております。		
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝時間も定めてはおりませんので、様々ですが一人でもお休みになられましたら全員で配慮し、明かりは落としテレビの音も下げ睡眠の妨げにならない様努めております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の能力に応じ、日々の生活における担当などを決め暮らす楽しみを支援しております。		
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当苑ではお金のお預かりは致しておりません。緊急時やどうしても必要とされる場合に限り、当苑が立て替えております。但し、お金の使用はご家族了解の上としております。		
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来るだけ外出には心がけております。近隣ショッピングセンターなどへの買い物にも同行頂いております。		
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	納涼祭には大きな会場へご家族と共に参加して、お祭の雰囲気を楽しんで頂いたり、お花見にも皆で出掛け思い出作りをたくさん出来る様努めております。	○	年1回でも、日帰り温泉の旅を行う予定
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙は自由に出来る環境にあります。電話については、携帯電話をお持ちの方が数名おりますが、通話中のままであったり充電がなされていない等の場合の確認はする様にしております。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	誰が来られても皆気持ちよくお帰り頂ける様な対応を心がけております。	○	工夫をしていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援						

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員に法令を書面にて理解をし、身体拘束は行わない体制です。車イスの安全ベルトは必要な時のみご家族了解の上行う事があります。		
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には全て鍵の無い理由をご説明の上、ご理解頂いております。玄関は、立地の都合上電子錠となっておりますが安全の為の理由をご了承頂いております。		
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者本人が、一人になるのは居室内のみとなるので分単位に見回りを行う様にしています。但し、プライバシーは侵害しない様本人に了解の上居室を拝見させて頂いております。		
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物とみなされるものは本人・ご家族の了解の上当苑で管理をしております。(可燃物・刃物)など		
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	協力病院の医師・看護師による緊急時の対応について、研修を行っております。火災や地震による避難訓練も行っております。		
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	協力病院との連携にて行っております。	○	定期的に行う様にしていきたい。
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は行っているが、地域を交えては行っておりません。	○	地域の協力を得られる様にしていきたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクになる可能性についての話し合いはご家族と行っております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援						
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の異変などの際は看護師へすぐ連絡をし、叱るべき処置を行う様努めております。緊急時には、協力医療機関への指示を仰ぎます。		
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の誤飲などを防止する為にもその薬の用法・用量は把握する様努めております。		
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の際はまず食事内容を改善しております。しかしながら解決しない場合、本人が今まで利用している便秘薬を利用する場合があります。		
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎日、歯磨きと口腔状態の確認をしております。		

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
77	28	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分については毎日記録をし、状態により変化をもつ様にしております。		
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	風邪の症状のある来苑者及び職員の入苑はお断りしています。又、手洗いを頻繁に行う様にし、頻繁にエタノール消毒をしています。冬季は乾燥に注意し、霧吹きなどで湿度を与える様努めております。		
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	当苑では、食材を外注していますので調味料程度の管理です。但し衛生面を考えまな板や食器類の管理に注意をはらっております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり						
(1)居心地のよい環境づくり						
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしています	玄関前には、花・植物を植えて一般の住宅の様な雰囲気になる様工夫しております。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースには、常に綺麗にし絵や写真などを掲示し季節感ある空間作りにも努めております。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	スペースの都合上、リビングになりますがかラオケを自由に利用する事ができます。		
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み制限はありませんので、本人の希望する物をお持ち頂き希望するレイアウトのお手伝いを致しております。		
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	全体の温度と居室の温度の差があまりない様努めております。においなどは空気清浄機にて対応しており、こまめに換気も行っております。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に配慮した建物内部となっています。危険の恐れがある場合は即時対応しております。	○	工夫については検討していきたい。
86		わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自立生活の支援を日常としておりますので、失敗を防ぐ配慮を致しております。	○	工夫については検討していきたい。
87		建物の外周りや空間の活用	建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭には菜園があり、皆で野菜を作ったりと楽しめる空間にしております。		

(様式1)

自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
V. サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者がころへ出かけている ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98		職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない